

筑波大学流域管理研究室と 大規模土砂災害対策技術センターの共同研究



何を目標している？

那智川流域では、2011年の紀伊半島大水害で甚大な被害が発生。

災害を繰り返さないためにも、災害発生プロセス全体の解明を目指す。



山が崩れ『斜面崩壊』

崩れた土砂・木が
流れ出す『土石流』

泥水、土砂・流木の氾濫
『土砂・洪水氾濫』

豪雨災害発生
プロセス全体の
理解

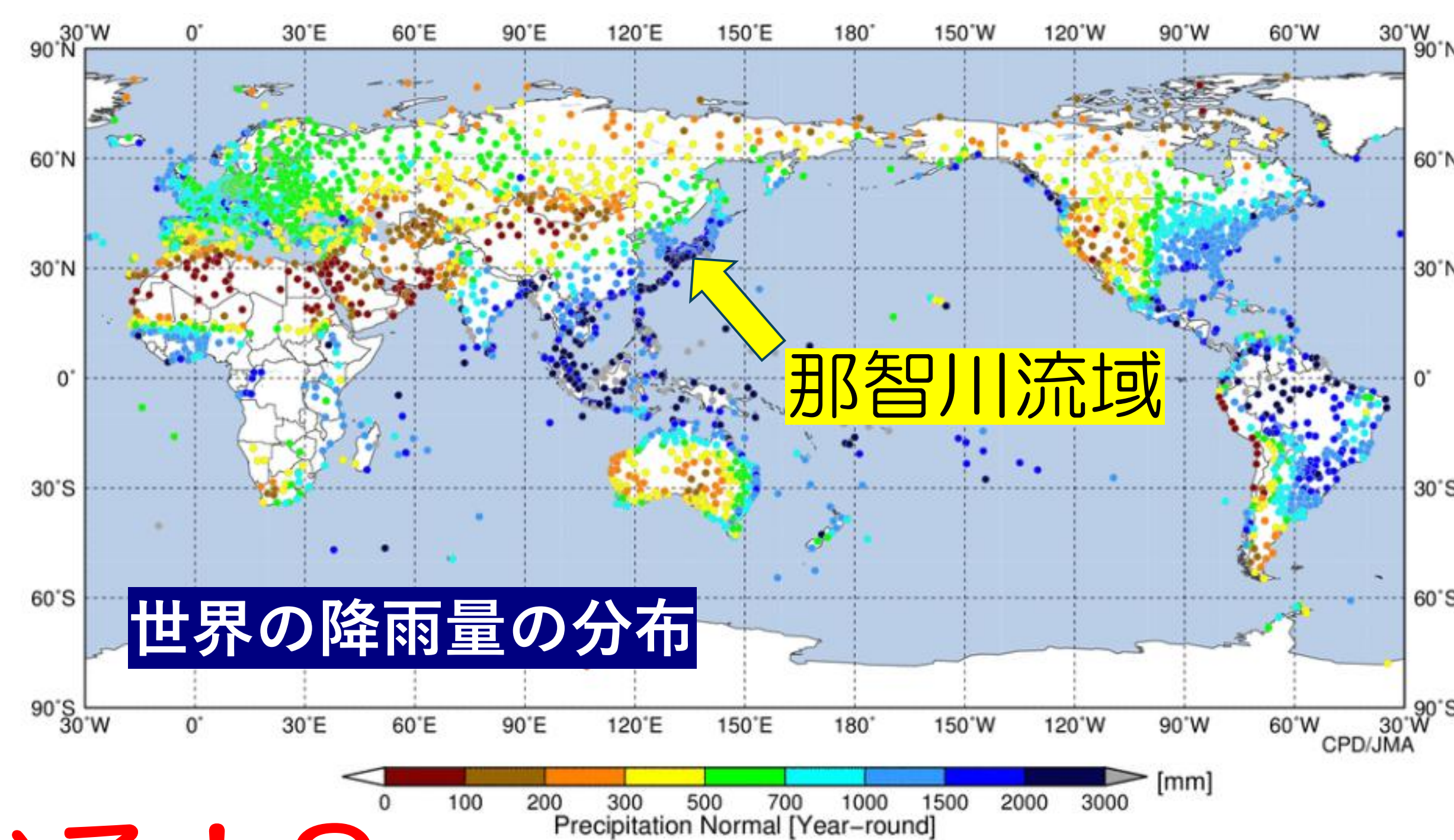
なぜ、那智川流域で？

世界屈指の多雨

那智川流域は世界的に見てももっとも雨の降る地域

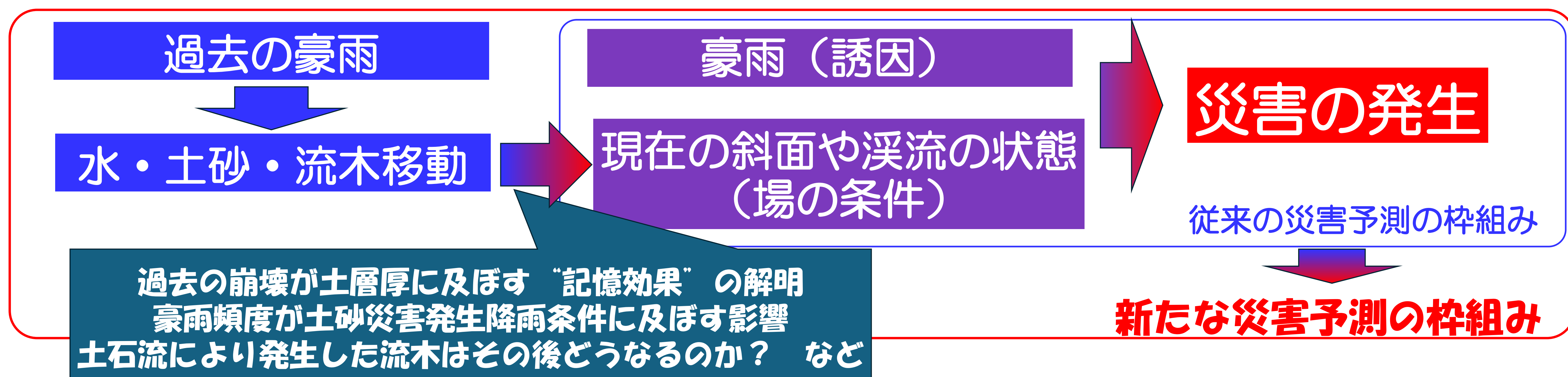
充実のデータセット

大規模土砂災害対策技術センターにより最新調査技術を活用した類を見ないデータセットが構築



那智川流域でしかわからないことが分かる！？

何に注目している？



過去を知る ⇒ 災害予測の精度に革新をもたらす